カリタ コーヒーマシン・ET-550TD 保証書

型名 コーヒーマシン・ET-550TD	製造No.
★お客様 ご住所 〒 － TEL. ( )	
お名前（フリガナ） 様	
保証期間 **1年**	★販売店
★お買い上げ日 年 月 日	住 所 店 名 印

★印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無をご確認くださいますようお願いいたします。もし記入のない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※保証書にご記入いただきましたお客様の住所氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のためにご利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

本書は、本書内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1 お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
2 なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのカリタ営業所へご相談ください。
3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
- ●ご使用の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
- ●お買い上げ後の落下および輸送上の故障、および損傷。
- ●火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障や損傷。
- ●本書のご提示がない場合。
- ●本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。あるいは字句を書きかえられた場合。

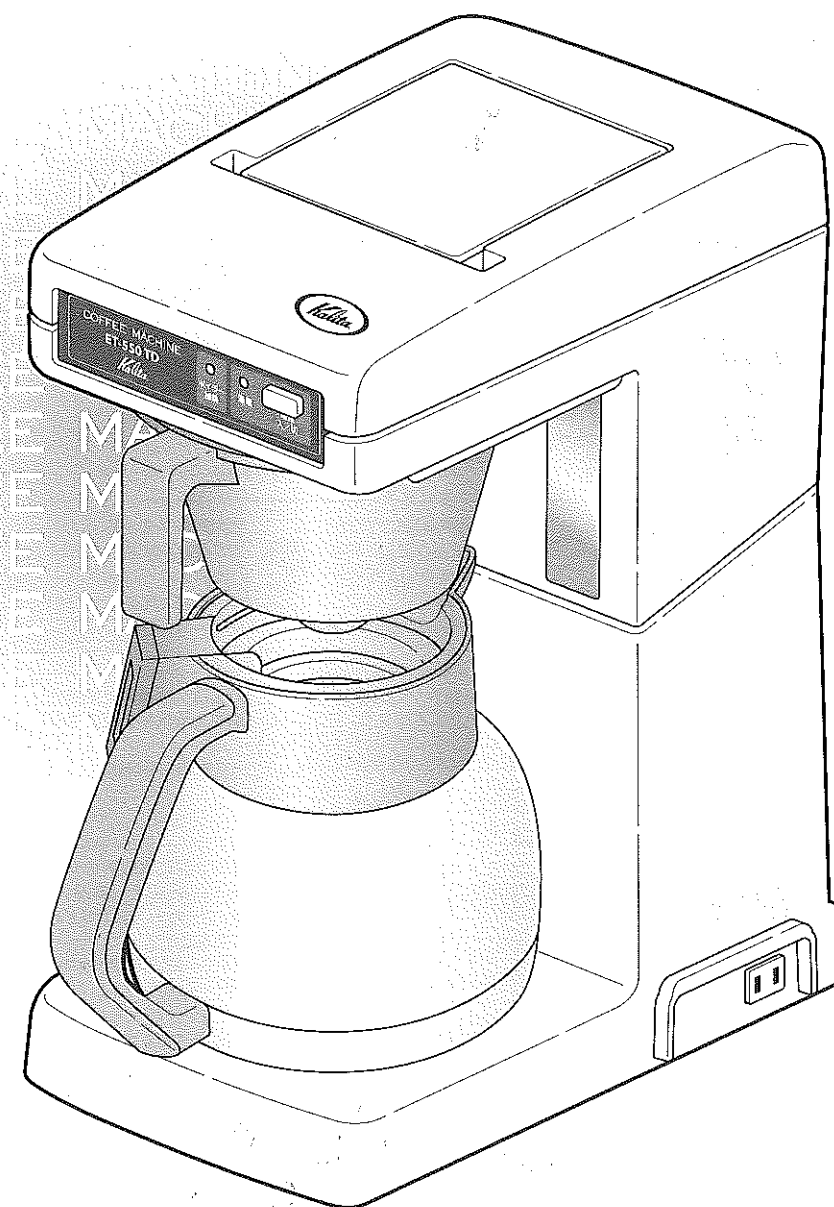
4 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのカリタ営業所にお問い合わせください。

株式会社 カリタ

本社 〒144−0055 東京都大田区仲六郷4−22−1・・・・TEL.03(3738)4111
大阪支店 〒661−0041 兵庫県尼崎市武庫の里2−24−22・・TEL.06(6435)2180
名古屋支店 〒465−0055 名古屋市名東区勢子坊1−502・・・・TEL.052(709)7222
福岡支店 〒812−0041 福岡市博多区吉塚1丁目38−30・・TEL.092(611)9341
札幌営業所 〒003−0021 札幌市白石区栄通17−16−1・・・・TEL.011(852)9611
仙台営業所 〒984−0015 仙台市若林区卸町1丁目2−8・・・・TEL.022(283)0185
広島営業所 〒733−0032 広島市西区東観音町5−8・・・・・・TEL.082(531)0087
ﾒﾝﾃﾅﾝｽｾﾝﾀｰ 〒211−0007 川崎市中原区上丸子天神町343・・・TEL.044(733)4820

カリタ・業務用コーヒーマシン
ET-550 TD

取扱説明書（保証書付）

この度は、カリタ・コーヒーマシンET-550TD をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。	⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例		
感電注意	**分解禁止**	**プラグを抜く**
△は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠警告

分解禁止：修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「カリタ」にご相談ください。	水かけ禁止：水につけたり、水をかけたりしないこと。ショート・感電の恐れがあります。	禁止：容器（デカンタ・ファンネル）なしで使わないこと。熱湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。	コンセントを単独で使用：定格15A以上のコンセントを単独で使用すること。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
禁止：差し込みプラグの刃および刃の取付け近くに、ほこりが付着している場合は、よく拭くこと。火災の原因となります。	プラグを抜く：手入れをするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜くこと。またぬれた手で抜き差ししないこと。感電・ショート・発煙・発火の原因になります。	奥まで差し込む：電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込むこと。感電・ショート・発火の原因になります。	禁止：子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

⚠注意

100V以外禁止：交流100V以外では使用しないこと。火災・感電の原因になります。	禁止：コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。感電・ショート・発火の原因になります。	プラグを抜く：使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜くこと。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	プラグをもって抜く：差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜くこと。感電やショートして発火することがあります。
プラグの掃除：差込みプラグの刃および刃の取付け近くにほこりが付着している場合は、よく拭くこと。火災の原因になります。	禁止：コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、また、重い物を載せたり、挟みこんだりしないこと。コードが破損し火災・感電の原因となります。	禁止：ガスコンロ等の炎や熱気のあたる場所に置かないこと。火災の原因になります。	禁止：使用中はファンネルやデカンタを引き出さないこと。やけどの恐れがあります。
禁止：不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないこと。火災の原因となります。	禁止：コーヒー粉、水は入れ過ぎないこと。ファンネルやデカンタからコーヒーがあふれ、やけどをする恐れがあります。	禁止：水タンクに水以外のものを入れないこと。（熱湯、牛乳、コーヒーアルカリイオン水など）故障やふきこぼれ、異常動作の原因になります。	接触禁止：蒸気が出る所には手を触れないこと。やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。
禁止：水のかかる場所や、湿気の多いところでは使わないこと。火災の原因となります。	禁止：壁や家具の近くで使わないこと。蒸気または熱で家具を傷め、変色・変形の原因になります。	禁止：デカンタをのせたまま、本体を動かさないこと。やけどやけがの原因になります。	冷えてから行う：お手入れは冷えてから行うこと。高温部に触れ、やけどの原因になります。
禁止：抽出直後、すぐにタンクに水を入れないこと。ヒーターが熱くなっているため、湯口から熱湯・蒸気が出て、やけどの原因になります。	禁止：本体にふきんなどをかぶせないでください。本体の上にふきんなどをかぶせると、本体の変形の原因になります。		

各部の名称とはたらき

●本体

●デカンタ（KTD-18）

● 抽出時間が長くなればなるほど、コーヒーの持つ様々な成分がコーヒーの中に多く出てしまいます。
カリタ・ET-550TD は、抽出弁に形状記憶合金を採用し、抽出時間を短くすることで、コーヒー豆が持つ本来の美味しさだけを引き出します。
● ET-550TD にはカリタ立ロシ 25cm をご使用ください。
● ロシはコーヒーのおいしさを抽出し、不純物を取り除きます。後始末も簡単、配水管を詰まらせる心配もありません。
● デカンタの取扱説明書は別にありますので、そちらもよくお読みになってご使用ください。

使い方

お使いになる前に

初めてご使用になるときや、長時間使わないでいたときは、洗浄のため下記の要領で 1～2 回水だけで噴出してください。
<各部品の洗浄方法はクリーニングの方法をご参照ください>

- ●付属品を水洗いし、水気をふき取ります。
- ●本体を平らなしっかりした台の上に置きます。

コーヒーの抽出

1 水タンクに水を入れます。

- ● 排水栓が閉じているのを確認し、計量カップなどで水位表示パネルを見ながらゆっくりと入れてください。
- ● 1,900ml 以上の水は入れないでください。デカンタからコーヒーがあふれます。
- ● 必ず 700ml 以上の水を入れてください。700ml より少ない場合は水圧スイッチが作動せず水（コーヒー）の噴出ができません。

2 ファンネルに立ロシをセットします。

- ●カリタ・25cm 立ロシをご使用ください。

3 コーヒー粉を入れます。

- ● コーヒー粉の量は下の表をご参照ください。
- ● 粉を入れたらファンネルを軽く振り、粉がほぼ平になるようにならしてください。
- ● コーヒー粉は中挽きを使用してください。

コーヒー粉の量	給水量	抽出コーヒー量
50g	700ml	約 600ml
75g	1,200ml	約1,050ml
100g	1,700ml	約1,500ml
110g	1,900ml	約1,800ml

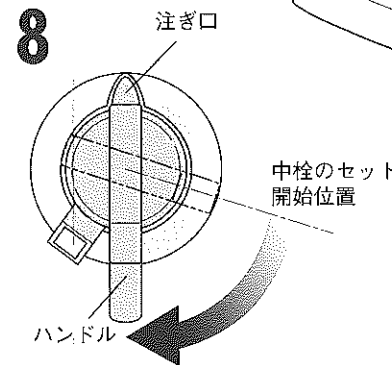
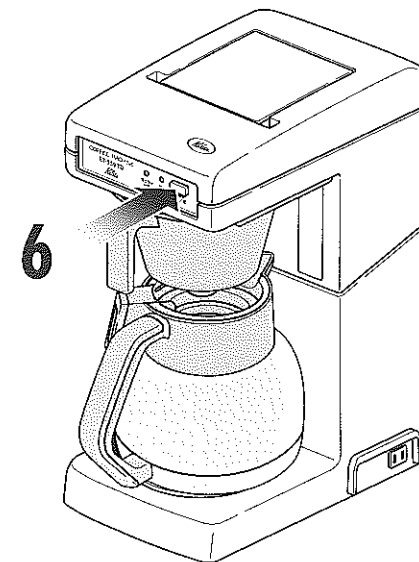
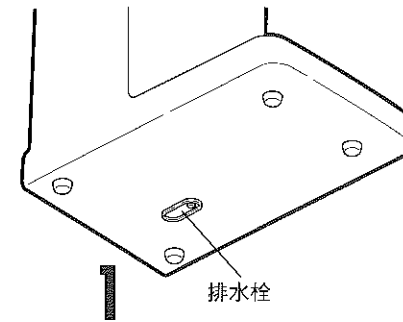
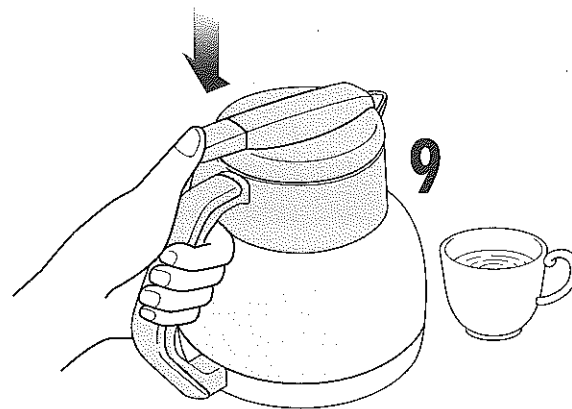
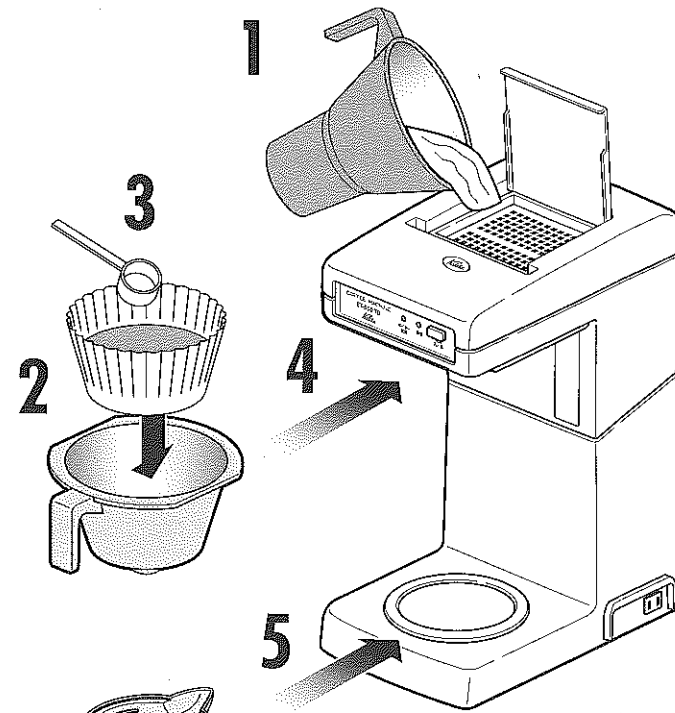
ご注意

- ●コーヒー粉の最大使用量は 120g です。120g 以上入れますと、抽出中のファンネルからコーヒーがあふれ出ることがあります。
- ●給水量は 700ml～1,900ml を必ず守ってください。

4 ファンネルを本体にセットします。

- ● 本体レールに沿って差し込みます。
- ● 本体に突き当たるまで差し込んでください。

5 専用デカンタ(KTD-18)を本体に乗せます。

- ● 専用デカンタ(KTD-18)の中栓をはずし、本体の上にずれないように正しくセットしてください。

● 湯が冷めやすいときは、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、下記にしたがって処置してください。

原因	処置
中栓がきっちりとしまっていない	正しくしめる
コーヒーが少ない	湯煎をするかコーヒーを入れる
センサーがついていない	正しく取付ける

6 電源スイッチを押します。

- ● 差し込みプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押すと、通電ランプ、ボイラー加熱ランプが点灯します。

ご注意

- ●電源は必ず AC（単相）100V・15A 以上の専用コンセントをご使用ください。
- ●デカンタの容量は 1.8 リットルです。コーヒーを抽出する前に必ずデカンタを空にしてください。
- ●抽出中は高温で危険なので、水を注ぎ足さないでください。

7 シャワーの噴出が始まります。

- ● 電源スイッチを押してから約 5 分 30 秒後に噴出が始まります。
- ● 沸騰音がしますが故障ではありません。

8 噴出が終了します。

- ● 噴出終了直前に「シューシュー」と数回の強い噴出後、ボイラー加熱ランプが消えます。
- ● 1,900ml の場合で電源スイッチを押してから約 10 分で終了します。
- ● ファンネルからコーヒーのしずくが出なくなるまでデカンタを動かさないでください。
- ● 終了しましたらデカンタを本体からとりだし、中栓をしっかりとセットして出来上がりです。
- ● 中栓をセットするとき、中せんのレバーの位置をデカンタのハンドルの上にくるまでしめてください。

連続して使用する場合には

- ● 電源スイッチを押して OFF にし、1 項からの操作を繰り返してください。約 10 分間隔で繰り返し抽出できます。

業務終了・閉店する場合は

- ● 電源スイッチを押して、OFF にします。コンセントから差し込みプラグを抜いてください。

コーヒーを冷まさないために

- ● デカンタ内が冷えていると、抽出したコーヒーがぬるくなる場合があります。抽出する前にデカンタを湯煎してください。

デカンタよりコーヒーを抽出する

9

- ● デカンタ本体に中栓がしっかりとセットされているのを確認し、ハンドルを持ち、レバーを押しながらカップにコーヒーを注ぎます。レバーをはなすと止まります。
- ● 中栓を取り付けないと、コーヒーが早くぬるくなります。

クリーニングの方法

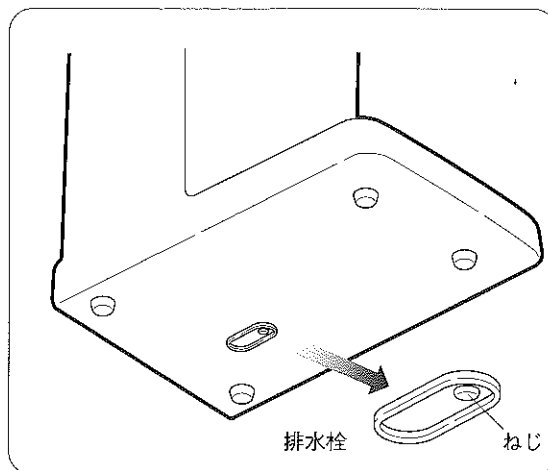
この製品を長くご愛用いただくために、お手入れは定期的に行なってください。

ボイラー内の排水

ご注意
●ボイラーが冷めていないと、やけどをする恐れがあります。必ず電源を切って 20 分位冷ましてから、排水を行なってください。

1 差し込みプラグが抜いてあるかを確認します。

2 排水栓を開きます。
●ねじをゆるめ、排水栓を回して引き抜きます。
●排水栓から水(お湯)が出ますので、排水栓の下にバケツなどを用意し手足にかからぬようご注意ください。

3 排水栓を閉じます。
●排水が完了しましたら逆の手順で排水栓を正しくセットしてください。

本体外部のお手入れ

中性洗剤を浸し、かたく搾った布で拭いた後、洗剤が残らないようにからぶきをしてください。

ご注意
●本体に水をかけたり、ベンジン、シンナー、化学洗剤などを使用しないでください。

ファンネルのお手入れ

中性洗剤を入れた水かぬるま湯を使い、柔らかなスポンジなどで洗ってください。洗剤が残らないよう、よくすすいでください。

ご注意
●金属製のタワシの使用は傷や変色の原因になります。

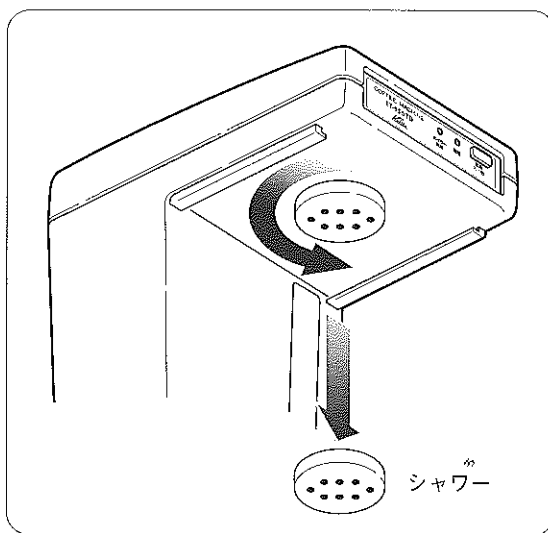
シャワー（湯口）のお手入れ

水道水中の無機質などにより、シャワーの穴が目詰まりを起こす場合がありますので、定期的にシャワーをはずして、中性洗剤で洗い流し、再度セットしてください。

ご注意
●ボイラーが冷めていないと、やけどをする恐れがあります。必ず電源を切って 20 分位冷ましてから、シャワーを洗浄してください。

1 差し込みプラグが抜いてあるかを確認します。

2 シャワーをはずします。
●シャワーは左へ回すと外れます。

3 シャワーを取り付けます。
●洗浄が完了しましたら逆の手順でシャワーを正しくセットしてください。

ご注意とお願い

次のことは必ず守ってください

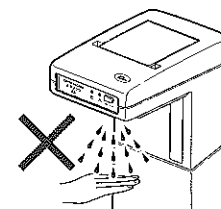
1 必ず正しく配線されたコンセント(電源)をご使用ください。
●フタマタソケットなどを使い、他の電気器具などと同時に使用するのはおやめください。

2 本体を運ぶときは、必ずデカンタを外してください。
●落下して破損する場合があります。

3 本体は熱くなります。使用場所にご注意ください。
●特に熱に弱いプラスチックなどの上では、ご使用しないでください。

4 水タンクに水以外のものを入れないでください。
●熱湯・コーヒー・牛乳などをいれると故障します。

5 水タンクに水を入れたまま放置しないでください。
●水が腐敗したり、故障の原因になります。

6 ご使用中やご使用後、しばらくの間(約 20 分)は、本体に触れないでください。
●シャワー（湯口）から熱湯が飛び散ったりして、ヤケドの恐れがあります。

7 ファンネルやデカンタは抽出が完全に終了してから引き出してください。
●抽出中にファンネルを引き出すと、シャワーの熱湯で、やけどをする恐れがあります。

8 使用後は必ず、電源スイッチを再度押して OFF にしてください。
●差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグをもってください。

9 寒冷地で使用する場合。
●タンク内の水が夜間凍結する恐れがありますので、必ず排水してください。

10 本体に水をかけたり、水洗いをしないでください。
●感電や故障の原因になります。

11 デカンタついて。
●デカンタは最大 1,800ml 入りますが、デカンタに中身が残ったまま抽出をすると、ファンネルやデカンタからコーヒー等があふれ、やけどをしたり、周りが汚れたりするので、必ずデカンタの中身を空にしてからご使用ください。
●デカンタの取扱説明書は別にありますので、そちらもよくお読みになってご使用ください。

修理サービス・保証について

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店までご相談ください。
なおご相談なさるときは、コーヒーマシン名(コーヒーマシン・ET-550TD)とお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
●カリタはこのコーヒーマシンの補修用部品を製造打切後、最低 5 年間保有しています。
●保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、お近くのカリタ営業所へご相談ください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
●保証書(裏面)にお買い上げ日、販売店名などの所定事項の記入がなければ有効となりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
●万一故障した場合には、保証書記載内容の保証期間内に限り、お買い上げ販売店が無料修理いたします。
●このコーヒーマシン・ET-550TD の保証期間は、お買い上げいただいた日から 1 年です。その他詳細は保証書をご覧ください。

仕　様

型　式	ET-550TD	コード有効長	2m
定　格	AC100V 1,300W 50/60Hz	外形寸法	ET-550TD：幅200×奥行き327×高さ421
給水量	700ml～1,900ml		KTD-18　：幅170×奥行き235×高さ195
噴出温度	90℃以上（安定時）	本体質量	ET-550TD：約4.1kg　満水時約6.0kg
空焚き防止装置	ダイアフラム式圧力スイッチ		KTD-18　：約1.05kg　満水時約2.9kg
温度ヒューズ	188℃	付属品	液晶サーモデカンタ（KTD-18）、
デカンタ	内容量1.85L		ファンネル1コ、立ロシ25cm25枚